

問1 愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。

(2026年 富山公立入試 類似)

1. 豊川用水                      2. 愛知用水                      3. 明治用水                      4. 香川用水

問2 木曽福島周辺の地形的な特徴と、江戸時代にこの地に福島関所が設置された理由の組み合わせとして、最も適切な説明はどれですか。

(2018年 神奈川県公立入試 類似)

1. 山々に挟まれた狭い谷底に交通が集中する地形を利用して、江戸への武器の流入や大名の妻の逃亡を厳しく監視するため。  
2. 広大な平野を流れる木曽川の氾濫を防ぐために、治水工事の拠点として幕府の役人を配置し、周辺の農民を管理するため。  
3. 木曽川が南西から北東へと流れる地形の特性を活かし、水運を利用して日本海側から運ばれる物資に重い税を課すため。  
4. 太平洋沿岸に近いという立地条件を活かして、外国船の来航に対する海岸警備の拠点とし、江戸の防衛を強化するため。

問3 日本列島の中央部に位置し、日本海に面したある県について、統計資料において「米の収穫量が全国1位」であり、かつ「県内に越後平野が位置する」という特徴があります。この県として正しい名称を選びなさい。

(2023年 愛媛公立入試 類似)

1. 新潟県                      2. 秋田県                      3. 山形県                      4. 北海道

問4 愛知県の伊勢湾沿岸では、東西約20kmにわたる大規模な埋立地が造成され、中京工業地帯の中核を担う鉄鋼業が発展しました。この地域で生産される鋼板などの鉄鋼製品について、現在の原料の調達状況と主な供給先を組み合わせた説明として最も適切なものはどれですか。

(2022年 東京都公立入試 類似)

1. 輸入した原料を使用し、主に近隣の自動車産業に向けて供給している  
2. 国内産の原料を使用し、主に船舶の製造のために供給している  
3. 輸入した原料を使用し、主に海外へ輸出するための缶詰容器として加工している  
4. 国内産の原料を使用し、主に建築用の建材として全国へ出荷している

問5 北陸地方は日本海側に位置し、冬には季節風の影響で非常に多くの降雪量が見られます。このような自然環境のもとで、江戸時代以来の伝統技術や地元の原材料を活用した産業が発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。

(類似)

(2019年 滋賀公立入試 類似)

1. 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった  
2. 冬の強い季節風をエネルギー源とした大規模な機械工業が、江戸時代から沿岸部で発達した  
3. 広大な平野部において、冬でも温暖な気候を活かした二毛作が行われ、その加工品製造が広まった  
4. 豊富な雪解け水を工業用水として活用するため、冬の期間に限定して大規模な化学工業が行われた

問6 愛知県に位置し、東京（羽田・成田）や新千歳、那覇、福岡、鹿児島といった全国の主要都市と、年間旅客数が100万人を超える大規模な航空路線で結ばれている空港として正しいものを次の中から選びなさい。

(2022年 熊本県公立入試 類似)

1. 中部国際空港                      2. 大阪国際空港                      3. 関西国際空港                      4. 成田国際空港

問7 富山市では、旧JR富山港線を路面電車化（LRT化）したことで、公共交通の利便性が大幅に向上しました。運行状況の変化をみると、かつては30分から60分に1本程度だった運行間隔が、日中は15分、ラッシュ時には10分間隔へと短縮されました。このような運行サービスの改善がもたらした直接的な結果として、最も適切な説明を選びなさい。

(2016年 長野県公立入試 類似)

1. 1日あたりの輸送人数が、LRT開業前の約2000人台から開業後は5000人台へと大幅に増加した。  
2. 1回あたりの輸送能力を高めるため、従来の車両よりも大型で定員の多い車両が導入された。  
3. 運行効率を最優先した結果、駅の数を大幅に削減し、速達性を高めることで利用者が増加した。  
4. 運行本数を増やしたことで維持管理費が増大し、1人あたりの運賃が大幅に引き上げられた。

問8 中部地方の日本海側に位置する北陸地方（富山県など）の工業について、製品出荷額の構成比を示した統計において、金属工業が約9.5%、化学工業が約11.3%を占めるなど、これらの産業の割合が他地域に比べて高いという特徴があります。北陸地方でこのような工業が発達した歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。

(2025年 福岡県公立入試 類似)

1. 急峻な地形と豊富な水量を活かした水力発電による、安価な電力を利用できたため  
2. 首都圏へのアクセスが良かったため、鮮度が重視される食料品工業が優先的に発達したため  
3. 大規模な石油コンビナートが沿岸部全体に広がり、プラスチック加工が産業の中心となったため  
4. 広大な平野部を利用して、自動車や航空機などの輸送用機械の組み立て工場が集中したため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>豊川用水</b>	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問2	<b>答え 1</b> <b>山々に挟まれた狭い谷底に交通が集中する地形を利用して、江戸への武器の流入や大名の妻の逃亡を厳しく監視するため。</b>	木曾福島付近は急峻な山々が迫り、交通路が木曾川沿いの狭い空間に限定される「地政学的なボトルネック」となっています。幕府はこの地形を利用して福島関所を設け、「入鉄砲に出女」と呼ばれる厳しい取り締まりを行いました。これは江戸の治安維持と、参勤交代を行う大名への統制を目的としたものです。選択肢にある「川の流向」や「海岸警備」の説明は、実際の地形や歴史的事実とは異なります。
問3	<b>答え 1</b> <b>新潟県</b>	本州のほぼ中央で日本海に面している新潟県は、信濃川の下流に広がる越後平野を有しており、米の収穫量は全国トップクラスです。選択肢にある秋田県は「八郎潟の干拓」や「秋田平野」、山形県は「最上川」や「庄内平野」、北海道は「石狩平野」での稲作が有名ですが、設問の越後平野は新潟県に該当します。
問4	<b>答え 1</b> <b>輸入した原料を使用し、主に近隣の自動車産業に向けて供給している</b>	中京工業地帯は愛知県を中心に発達した日本最大の工業地帯です。かつては国内産の原料も使用されていましたが、現在は輸入原料への依存が高まっています。特に愛知県は自動車産業が非常に盛んであるため、沿岸部の製鉄所で作られた鋼板は、自動車の車体などの材料として供給されるという密接な関連（関連工業の集積）があります。
問5	<b>答え 1</b> <b>冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった</b>	北陸地方は冬に湿った北西の季節風が山脈にぶつかると、世界的な豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって屋外での農作業ができなくなるため、農家の人々が収入を得るための副業として、室内で行える伝統技術を用いた地場産業が発達しました。
問6	<b>答え 1</b> <b>中部国際空港</b>	中部国際空港は愛知県常滑市の人工島に位置し、中部地方の空の玄関口として機能しています。この空港は東京（羽田・成田）だけでなく、北海道（新千歳）、九州（福岡・鹿児島）、沖縄（那覇）といった国内の各拠点都市との間に非常に需要の高い航空路線を持っており、日本の航空ネットワークにおける重要な拠点の一つとなっています。
問7	<b>答え 1</b> <b>1日あたりの輸送人数が、LRT開業前の約2000人台から開業後は5000人台へと大幅に増加した。</b>	旧JR富山港線からLRTへ移行した際、運行間隔の短縮や始発・終電時間の改善、さらに段差のない低床車両の導入といった利用者視点のサービス向上が行われました。この結果、2000年時点では1日約2000人台だった輸送人数が、2006年のLRT開業以降は5000人台へと倍増しました。これは、公共交通を軸とした「コンパクトなまちづくり」の成功例として知られています。
問8	<b>答え 1</b> <b>急峻な地形と豊富な水量を活かした水力発電による、安価な電力を利用できたため</b>	北陸地方、特に富山県などは、雪解け水や急流な河川を利用した水力発電が盛んに行われてきました。金属工業（アルミニウム精錬など）や化学工業は、製造過程で大量の電力を消費するため、安価な電力を得やすいこの地域で古くから発達しました。現在もその名残から、全国平均に比べて化学や金属の割合が高い傾向にあります。